

令和2年度 由仁町社会福祉協議会事業報告



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり

社会福祉法人由仁町社会福祉協議会

令和2年度由仁町社会福祉協議会事業報告

『基本方針：共に支えあう安心・安全・福祉のまちづくり』に基づき、町民会員各位のご協力をいただき各種事業を推進した一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉のつどいをはじめとする一部事業をやむを得ず中止・縮小しました。

事業推進の財源には、社会福祉協議会会員会費をはじめ、由仁町からの補助金及び委託金のほか、各種介護事業報酬を充てました。

〔法人運営〕

理事会等で法人運営の方向性を決定しながら組織の確立を図るとともに、開かれた社協を目指すために、「福祉だより」の発行やホームページの活用を推進しました。

〔地域福祉活動〕

誰もが住みやすい環境づくりを進めるために、金銭的に生活困難な方に対し社会福祉金庫で貸付を行うなど地域福祉活動を推進しました。

共同募金事業は、共同募金委員会と協力のうえ募金運動を実施し、町民の皆さんや町内の企業からの募金をいただきました。歳末たすけあい運動では、見舞金等の配布を実施しました。

生活支援体制整備協議体運営事務は、生活支援ボランティア制度を本実施しました。ボランティア活動の内容は、高齢者宅の草取りや窓ふきなどで、件数は前年度の3倍超の95件でした。

意思決定能力が不十分な方への福祉サービス利用援助などを行う「日常自立支援事業」を道社協から新規に受託しました。

老人クラブ連合会、身障福祉協会及び自治区連合会の事務局を受託し、会の運営を円滑に進めましたが、新型コロナウイルスの影響により事業の中止・縮小をしました。

〔介護サービス事業〕

町民の安心と安全を図りながら、訪問・通所介護事業及び居宅介護支援事業と指定管理で介護老人福祉施設「ほほえみの家」運営事業を実施しました。施設の事業経営の安定化を図るため、利用者の確保に努めましたが、特養入居者・ショートステイの利用者が少なく事業活動収支は大きくマイナスになりました。また、介護職員の確保は非常に困難を極めている状況であり、外国人技能実習生の雇用の検討を始めました。

〔ボランティアセンター事業〕

ボランティアセンター事業では、ボランティア保険の受付やボランティア感謝券の発行などセンター機能の充実を図りながら、ボランティア活動団体連絡会（ボラ連）の活動をはじめ各ボランティア団体を支援するとともに、小学校のボランティア活動への支援を行いました。

〔指定管理事業〕

健康元気づくり館「げんき館」、介護老人福祉施設「ほほえみの家」及び文化交流館「ふれーる」の指定管理運営を行いました。町民の利便性の向上を図るよう努めました。

◎法人運営の推進

～法人組織の適正な運営～

重点事項	事業概要	具体的な事業報告
法人組織運営の推進	理事会等の開催を通して法人運営の方向性を決定、監査の実施により法人運営の適正化を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催 4 回 ・評議員会の開催 4 回 ・監事監査の実施 4 回 ・運営協議会の開催 1 回 ・評議員選任解任委員会の開催 なし ・財務会計の適正管理 ・職員の労務管理（タイムカードの導入） ・職員給料表の改定等
福祉だよりの発行	町民に社協活動を広く周知し、理解を得るために福祉だよりを発行した。	・年 3 回の発行（4 月、7 月、12 月）
ホームページの活用	情報公開の推進を図るためにホームページを活用した。	・ホームページで事業内容、会計状況等を公表
福祉施設連絡会の開催	福祉施設連絡会を開催し各施設の情報交換や連携を図った。	・7 月に開催
福祉人材の確保	ハローワークや人材紹介事業者を通じ福祉人材の確保に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報を提出するなど積極的な雇用の推進 ・外国人技能実習生雇用の検討
記念誌の発行	社会福祉協議会創立 60 周年・法人化 40 周年記念誌を発行した。	・130 部 328, 900 円

◎地域福祉活動の推進

～住み慣れた地域でいつまでも暮らすことのできる環境づくり～

重点事項	事業概要	具体的な事業報告
地域福祉事業の実施	会費、寄付金をはじめ町委託金、共同募金、歳末たすけあい募金の助成を受け、関係団体と連携し地域福祉活動を推進した。	<ul style="list-style-type: none"> ・由仁町社会福祉金庫(貸付)を担当民生委員・関係機関と連携し貸付 8件 460,000円 ・弔慰金(香典)交付 62件 310,000円 ・緊急情報キット「命のバトン」配布事業 2件 ・車椅子貸出 8件 ・福祉杖への助成 14本 ・行事テント貸出 3件 ・各種レク機器貸出 3件 (会費の内容) 一般会費 1,215,200円 特別会費 100口 200,000円 賛助会費 62口 620,000円
共同募金事業の推進	自治区長で構成する共同募金委員会を中心に、社協役員及び関係団体が支援し共同募金運動の普及と啓発を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・7・8月街頭募金活動中止 ・10月赤い羽根共同募金・法人等募金 募金総額 1,351,138円 ・12月歳末たすけあい運動 募金総額 731,588円 ・見舞金の配分推進会議12/18 ・見舞金交付式の開催12/25
生活支援体制整備協議体運営事務の実施(町委託事業)	協議体の開催と「生活支援ボランティア」本実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援ボランティアの試行高齢者宅のそうじ・窓ふき・片付けなどの困りごとを1回100円で実施 95件
いきいきサロンの開催(町委託事業)	中止	
団体委任事務の推進	関係団体の円滑な運営を推進した。(事業一部中止)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会 ・身障福祉協会 ・自治区連合会

福祉のつどい及びふれあい広場の開催	中止	
3者共催「地域交流お楽しみ餅つき会」の開催	中止	
無料法律相談の開催	札幌弁護士会の協力のもと南空知4町社協が協力して毎週金曜日無料法律相談会を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2金曜日/げんき館町の無線による広報実施 ・利用者数 31名
日常生活自立支援事業の受託（新規）	判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助等を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・道社協から受託 継続 1件 新規 1件
緊急小口資金等業務の受託（新規）	新型コロナウイルスの影響により収入が減少した方等への資金貸付業務を行った。（町民の方の道社協への申請）	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金 12件 2,000,000円 ・総合支援資金 16件 5,598,000円

◎介護(予防)サービス事業の推進
 ～安心と安全・信頼の介護事業の提供～

重点事項	事業概要	具体的な事業報告
訪問介護事業の実施	介護保険制度に基づく訪問介護(予防)事業等を適正に実施した。社協らしい優しく丁寧な活動を推進した。	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者 延2,087名 ・予防(要支援)者 延998名 ・障がい福祉 延202名 ・自立支援 延13名 ・介護報酬額 9,515,344円 ・年賀ハガキでの交流
通所介護事業の実施 (地域密着型)	介護保険制度に基づく通所介護(予防)事業を適正に実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者 延2,624名 ・予防(要支援)者 延 927名 ・介護報酬額 24,372,162円 ・介護予防体操の充実 ・デイ通信の発行中止 ・年賀ハガキでの交流 ・ボランティア“まゆの会”の協力
居宅介護支援事業の実施	介護保険制度に基づく居宅介護支援事業を法令及び契約に基づき適正に実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者 延795名 ・介護報酬額 9,098,490円 ・委託調査受託 112,000円
移動支援事業の実施 (町委託事業)	人工透析患者移動の支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・水・金曜日 栗山赤十字病院へ送迎 利用者数 延2,961名
地域密着型介護老人福祉施設「ほほえみの家」の管理運営 (指定管理事業)	介護保険制度に基づき、介護老人福祉施設「ほほえみの家」を適正に運営した。	<ul style="list-style-type: none"> ・特養 27床 利用者数 延8,467名 介護報酬 70,879,158円 ・ショートステイ 3床 利用者数 延600名 介護報酬 3,809,414円 ・年度中の入退所状況 入所9名、退所8名 3月末待機者数 0名 ・季節行事の充実 ・多彩な給食 ・ボランティア“ほっとレモン”の協力

◎ボランティアセンター事業の充実

～地域包括ケアシステム・共助のための人づくり～

重点事項	事業概要	具体的な事業報告
ボランティアセンター事業の充実	ボランティアセンター機能を充実するため育成支援や他団体との調整・交流を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険214名受付 ・ボランティアセンター登録状況 22件 ・ボランティア活動場所の支援 (ボランティアセンター登録団体) ・ボランティアスクール・ジュニア福祉スクール 中止
由仁町ボランティア活動団体連絡会（ボラ連）活動への支援	ボラ連活動を支援した。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動助成金の交付 50,000円 ・交流事業協賛金 10,000円
ボランティア感謝券の発行(町委託事業)	ボランティアセンター登録のボランティア団体への運営助成としてポイントを算定し感謝券（由仁町商工会商品券）を配布した。	<ul style="list-style-type: none"> ・町の基本50ポイントに社協独自で20%を上乗せし、年2回に分けて商品券を配布 ・団体数 15団体 215,500円
児童ボランティア活動の推進	小学校のボランティア活動への支援をした。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の児童による清掃活動に継続して支援

◎指定管理事業の運営

～町民の健康と利便性の推進～

重点事項	事業概要	具体的な事業報告
健康元気づくり館の 指定管理運営	指定管理事業による「げん き館」の管理運営を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・げんき館の管理のために各種 保全委託業務の実施 ・施設の故障に迅速に対応 ・利用者数 延17,343名
地域密着型介護老人 福祉施設「ほほえみ の家」の指定管理運 営 <div>再掲</div>	介護保険制度に基づき、介 護老人福祉施設「ほほえみの 家」を適正に運営した。	<ul style="list-style-type: none"> ・特養 27床 利用者数 延8,467名 介護報酬 70,879,158円 ・ショートステイ 3床 利用者数 延600名 介護報酬 3,809,414円 ・年度中の入退所状況 入所5名、退所6名 3月末待機者数 0名 ・季節行事の充実 ・多彩な給食 ・ボランティア“ほっとレモン” の協力
文化交流館「ふれー る」の指定管理運営	指定管理事業による「ふれ ーる」の管理運営を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館申込と料金収受の一体化 ・ふれーるの管理のために各種 保全委託業務の実施 ・ロビー活用による作品展示中 止 ・ふれーるカフェ中止 ・施設の故障に迅速に対応 ・利用者数 延3,077名

◆町からの補助金及び受託金について

事 項	事業概要	補助金等金額
社協人件費補助	法人運営のための事務局員 人件費補助	・ 補助金 13,920,186円 (4名分)
生活支援体制整備事業の協議体運営 (委託)	協議体を設立し、運営会議 のほか「生活支援ボランティア」本実施	・ 受託金 72,100円
いきいきサロンの開催 (委託)	中止	・ 受託金 0円
福祉のつどいの開催 (委託)	中止	・ 受託金 0円
移動支援事業 (委託)	人工透析患者移動の支援	・ 受託金 6,963,036円
ボランティア感謝券の発行 (委託)	ボランティア団体への運営 助成として感謝券(由仁町商 工会商品券)を配布	・ 受託金 291,550円
訪問介護運営事業補助	訪問介護事業確保による運 営補助	・ 補助金 2,748,334円
げんき塾の開催 (委託)	専門トレーナーによる介護 予防健康教室を開催	・ 受託金 1,903,200円
健康元気づくり館 (指定管理委託)	健康元気づくり館の指定管 理運営	・ 受託金 34,398,000円 うち管理料 703,000円
地域密着型介護老人 福祉施設 (指定管理委託)	介護老人福祉施設「ほほえ みの家」の指定管理運営	・ 受託金 19,263,000円
文化交流館 (指定管理委託)	文化交流館「ふれーる」の 指定管理運営	・ 受託金 14,228,000円 うち管理料 648,000円

合計額 93,787,406円